

群馬県産業振興基本計画（原案）

（令和3年4月～令和6年3月）

群馬県産業経済部

「両利きの産業構造」を目指して

++++
++++
++++
++++
++++
++++
++++
++++

(作成中)

++++
++++
++++
++++
++++
++++
++++
++++



令和3年 月

群馬県知事 山本一太

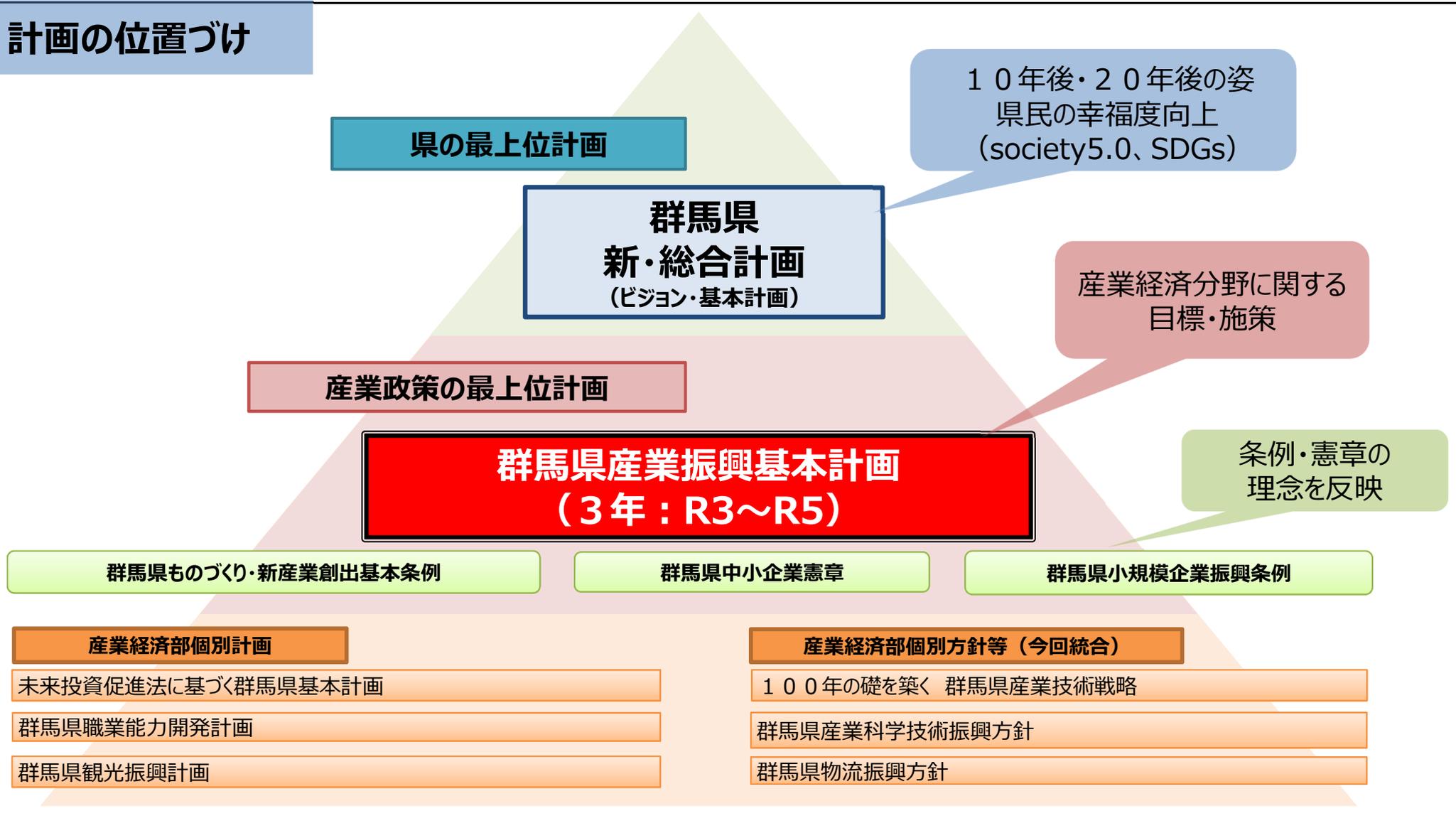
構成

1. 産業振興基本計画策定の目的・位置づけ ...4
 2. 本県の将来像と施策の方向性 ...5
 3. 「両利きの産業構造」を目指すための施策体系（4つの基本方針） ...8
 4. 各基本方針と主要施策 ...9
 - 基本方針Ⅰ DXの推進と新たなビジネスへの挑戦 ...10
 - 基本方針Ⅱ 様々なリスクや環境の変化に柔軟に対応できる産業の構築 ...14
 - 基本方針Ⅲ 群馬の新たな魅力を創造・発信 ...21
 - 基本方針Ⅳ 生き生きと働ける環境づくりと、将来の産業を担う自律型人材の育成・確保 ...28
 5. 効果検証 ...32
- 【分析編】
本県経済の現状と課題（データ分析・ヒアリング結果） ...37
- 【資料編】
関連条例、策定体制・策定までの経過 ...58

1. 産業振興基本計画策定の目的・位置づけ

○産業経済分野における最上位計画として、本県における**産業振興の方向性**を明確にし、更なる経済発展を図る。

計画の位置づけ



2. 本県の将来像と施策の方向性

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた**県経済を立て直すための足下対策**に取り組むとともに、新総合計画（ビジョン・基本計画）の開始に合わせ、「**10年後・20年後の本県経済の姿**」を見据えた施策に着手する。
- 既存産業の強みを生かしながら、時代の変化に合わせ新たな成長機会を探求することにより、「**両利きの産業構造**」を目指す。

現状・課題

- 少子高齢化や若者の県外流出による人材不足
- 製造業（輸送機器）に特化した産業構造
- 脆弱なサービス業（特に情報通信業）
- 中小企業対策、セーフティネット支援に重きを置いたこれまでの施策
- 急速に進む社会経済のデジタル化、Society5.0

- 新型コロナウイルス感染症による県経済への深刻な影響
- ニューノーマルに対応したビジネスモデルへの転換（ウイズコロナへの対応）

施策の方向性

- **産業のデジタル化（DX）による企業価値向上**（体力(規模)、体質(生産性)の強化、魅力ある中堅・中小企業）
- 人材への投資（産業を支える人材の確保・育成）
- 民間の力を引き出し活用
- 商工・経済団体の活性化
- 農林業や建設業等多様な産業との連携・協業

産業振興基本計画 R3-5（3年間）

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた既存産業の立て直し
- ② 新たな成長機会の探求

本県の将来像

- 1人あたり県民所得の向上
- 持続可能な地域経済の実現



DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは

AI、IoT、ビッグデータ等のデジタル技術を活用し、ビジネスモデルや組織、業務、企業文化・風土等を抜本的に変革し、新たな価値の創出により成長・競争力を強化すること。今後、デジタル技術が、あらゆる産業において価値の中核となることが予想されている。

① 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた既存産業の立て直し

- 新型コロナウイルス感染症は、飲食・小売、宿泊業から製造業に至るまで、あらゆる業種に影響を与えている。特に中小・小規模事業者への影響は深刻であり、売上回復が遅れるほど、**雇用への影響**とともに**廃業等の増加**が懸念される。
- 資金繰り等による経営の下支え**とともに、**ウィズコロナ、ニューノーマル対応**を進めることで、新型コロナウイルス感染症の影響をいち早く払拭し、反転攻勢につなげる。

対応方針

① **生産性・企業価値向上**のため既存産業の**DX**を推進
(経営改革の手段としてデジタル技術を導入)

② 県内企業の**事業継続**に向けたきめ細かな支援
(資金繰り支援、経営相談、販路開拓支援、BCP策定支援 等)

③ 国（労働局）とも連携した**雇用維持・再就職**に向けた支援

④ **ニューノーマル**実践のための**新しいビジネスモデルの構築**
(感染症対策の徹底、オンライン活用 等)

⑤ デジタルシフトによる本県観光の**新しい価値や魅力**を創造・発信



② 新たな成長機会の探求

- 新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、**産業のデジタル化 (DX)**が加速。事業を継続・発展させていくため、時代の変化に対応した**新たなビジネスモデル**の構築が必要。
- 労働力人口が減少し、従来のやり方では事業が継続できない恐れもある中、**DXが事業継続の鍵**。製造業はもとより、サービス産業をはじめあらゆる産業の生産性向上の有効な手段。
- 社会経済の変革を新たなビジネスチャンスに変え、**多様な産業による厚みのある経済成長**を目指す。

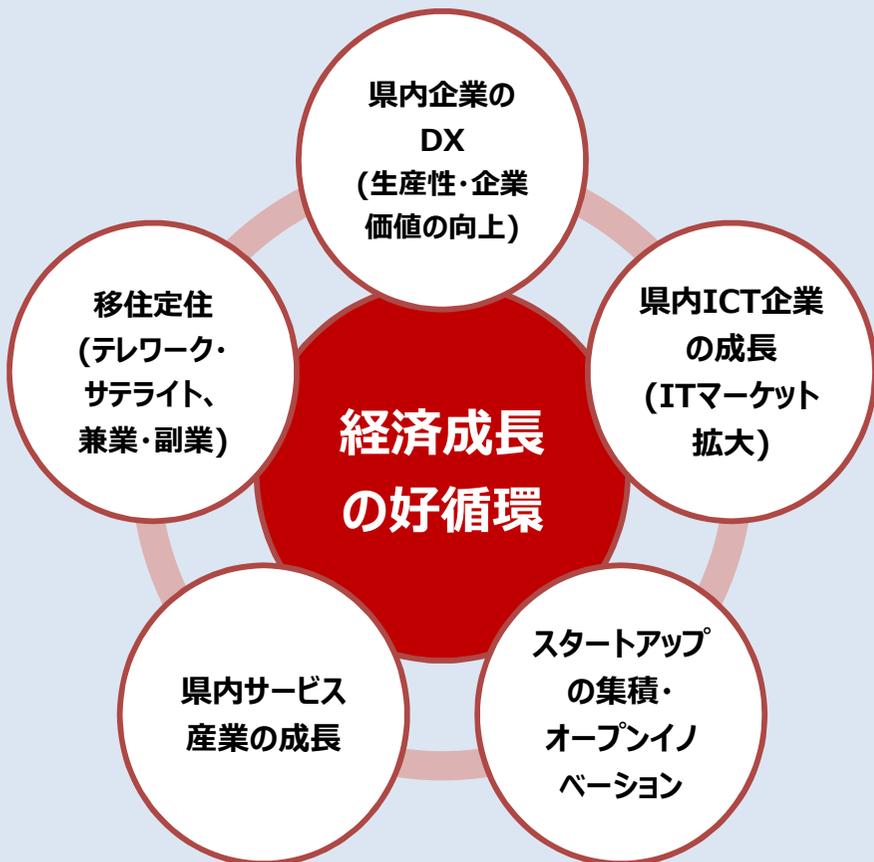
対応方針

① 本計画期間（3年間）を「**県内企業のDX推進のための重点取組期間**」とし、組織体制を含め、取組を強化

② **スタートアップの集積・オープンイノベーション**を通じた県経済の活性化

③ 産業を支える**自律型人材・デジタル人材**の確保・育成

④ 企業価値の向上により、優れた技術や地域の雇用を支える企業の**事業承継、経営力強化**を促進



3. 「両利きの産業構造」を目指すための施策体系

○以下の各基本方針のもと、既存産業の強みを生かしながら、時代の変化に合わせ新たな成長機会を探求する。

基本方針Ⅰ

DXの推進と新たなビジネスへの挑戦

①新型コロナウイルス感染症の影響を受けた既存産業の立て直し

企業価値の向上
生産性の向上
ニューノーマル対応のビジネスモデル構築

②新たな成長機会の探求

スタートアップ
(新しい市場やビジネスモデルでの起業)
オープンイノベーション
デザイン・アート

基本方針Ⅱ

様々なリスクや環境の変化に柔軟に対応できる産業の構築

企業体力（規模）・体質の強化
レジリエンス強化

SDGs
海外販路開拓
ICT企業の成長

基本方針Ⅲ

群馬の新たな魅力を創造・発信

データマーケティング
インバウンド対策
マイクロツーリズム

MICE推進
交流人口増
eスポーツ・コンテンツ産業

基本方針Ⅳ

生き生きと働ける環境づくりと、将来の産業を担う自律型人材の育成・確保

雇用維持・再就職支援
働き方改革

自律型人材
リカレント教育、デジタル人材

県民所得の向上



持続可能な地域経済の実現

